

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: R5年 6 月 5 日

公表: R5年 6月 9日

事業所名 運動学習支援教室ふれんず秋田南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0		指導員の目が届く死角のないスペースで活動を行っています
	2	職員の配置数は適切である	3	0		国の人員基準を満たしており、専門性を備えたスタッフ配置に務めております
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1		スペースによっては、段差の有無がありますが、角にはクッションシートを張り、けが防止に努めて参ります
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0		日々の業務改善を進める為のPDCAサイクルは、職員一同が共通認識し行えるよう朝夕のミーティングを行っております
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				今年度より自己評価の公開を行っております。送迎時や、お知らせ等がある際は、保護者の方の意向等も受けつつ、業務改善につなげていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今年度より公開致しております
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		現在は利用者との評価のみとなっておりますが、今後必要に応じ実施を検討して参ります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0		外部のオンラインでの研修等を行い職員の質の向上に努めます
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		アセスメントシートその他、面談やパソコンツールを活用した日々の連絡でのやり取りを行い、お子様の状況等も考慮しながら、放課後等デイサービス計画の作成を行っております
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0		活動プログラムにつきましては、課題内容や指導の仕方について日ごと・月ごとミーティングで話し合い、共通の目標を持って取り組んでいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0		お子様の状況により固定化になってしまうこともありますが、長期休暇の際には季節ごとのイベントを行うなど内容を固定化しないように努めています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		子どもの特性や状況に合わせ、職員間で話し合い、子供が成長出来る支援を心がけ計画を作成しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		開始前には職員間でミーティングを行い、一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団活動の課題を支援計画に入れていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0		終了時には職員間で振り返りを行い話し合ったことを皆が共通して行えるように努めています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		支援終了後は職員間で、その日の児童の活動の様子を当てはめながら振り返りをしています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0		概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	0		ガイドラインに基づき活動を行うことに努めています

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0		開催される場合には、児童発達支援管理責任者・管理者・担当者など、適任者を選んで出席しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0		送迎時・パソコンツールを使用した情報共有で連絡調整を行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/		現在は医療的ケアが必要なお子様は通所しておりません 医療的ケアが必要な方が通所の際は各機関と連携をし安心して利用できる様体制を整えます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2		必要がある際には連携し、情報理解に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0		まだ、そのような方はおりません 必要に応じて、個人情報に留意行っています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0		療育センター、視覚支援学校等専門機関の研修を受講しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		交流や活動する機会はありませんでした。 夏祭り等地域の方々との交流の場はあり、今後も近隣の方や外部との交流の機会を活動に取り組んでいけるよう努めて参ります
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3		要請があれば参加して参ります
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0		送迎の際や、成長療育支援システムを通して、日ごろの子どもの発達の状況や課題について共通理解するよう心掛けています。 また、保護者からの要望があれば、個別の相談の時間も設けております
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1		保護者の方々に対してペアレント・トレーニングは実施していませんが日々の子どもの状況を話し保護者の方々の負担を減らせるよう努めて参ります
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		契約時に説明をしております また、随時不明な点は職員が説明するようにしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0		日々のお子様の状況を伝え、保護者の方々より悩み事に対する相談があった際には適切な助言と支援が行えるように努めております
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		保護者会の開催実績はありませんが、保護者からの要望や必要に応じて開催し、保護者同士の連携を支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		ふれんず通信という会報を発行し子どもや保護者に対して、教室内の活動や行事予定を発信しております
	35	個人情報に十分注意している	3	0		個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		伝達方法を工夫し、お子様の状況・特性に合わせて伝わりやすい方法で伝えるようにしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0		夏祭りを開催した際には近隣住民に周知を行い開かれた事業運営に努めています

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	各マニュアルを策定し、周知と訓練実施に努めて参ります
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2	非常災害の発生に備えた訓練を、行っていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	外部の虐待防止の研修を受け、職員間で話し合いをし、適切な対応をするようにしています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	現在対象児童はおりません 対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	食物アレルギーのある場合は契約時のアセスメントシート・保護者の方との話し合いで確認し、アレルギーに十分注意し取り組んでいます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	危険な事例があった場合、日々の記録に記載し、ミーティングを通して職員で共有し、同じことが起きないように努めています